



NPO 法人



E~LINK

2019年度 活動報告書

E-LINKのミッション

子どもと地域・世界を繋ぎ、

子どもたちにたくさんの夢を



メンバー構成

代表理事：日向洋喜

理事：平野順風、河嶋峻、柴田涼平、木村高志、杉山旬

監事：谷脇貴大

社員：他4人

アドバイザー顧問：平野 直己(北海道教育大学教授)

太田稔(札幌大谷大学講師)

沿革

2017年7月：学童保育アドベンチャークラブ札幌 スタート

2019年9月：フリースクールLIKEPLUS スタート

2019年10月：NPO法人格取得。NPO法人E-LINK発足

はじめに

～子どもと地域と世界を繋ぎ、 子ども達にたくさんの夢を～

2017年、タイトルの想いを胸に、札幌のゲストハウスyuyuを舞台とした
学童保育アドベンチャークラブ札幌がスタートしました。

思い返せば1中学時代から小学校教師を目指していた私。
東日本大震災のボランティア活動や世界を旅する中で、素敵な想いをもって仕事に勤しむ社会人の方々
等、たくさんの人との出会いを通して私自身の可能性が大きく広がりました。

それをきっかけに、人との出会いを子ども達にこそ体感して欲しい。
それは、作られた出会いではなく、自然体のままでの出会いで感じて欲しい。

そうすれば、子ども達の夢はきっと広がる。

そうすれば、高校進学、大学進学、就職活動と、
常に進路の選択を迫られ苦しむ子ども達もたちが減るんじゃないか。

そうすれば、大人になることを楽しみに、
自分のやりたいこと・好きな事に真剣に向き合えるんじゃないか。

そんな想いもあり、たくさんの人が夢と希望をもって集まる、
ゲストハウスという場所での事業がスタートしました。

あれから1年、2年と経ち、フリースクールLIKEPLUSが始まり、
NPO法人E-LINKと名前を新たに、2019年は再出発の年でした。

おかげさまでこの約3年間で、国内外から集まる宿泊客やゲストハウススタッフ、地域で活躍される
方々、ボランティアに来てくれる多世代の方々など、本当に多くの方々が子ども達と繋がりました。

今後も地域と、世界、両方に目を向けてより多くの子どもたちに
たくさんの世界と繋がるお手伝いをしていきたいと思っています。
2020年度もどうぞよろしくお願いいたします。

NPO法人 E-LINK 代表理事 日向 洋喜



アドベンチャークラブ札幌

札幌の「ゲストハウスyuyu」を拠点としている、世界初のゲストハウス内で実施されている学童保育。日常的な遊びの中にゲストハウスに訪れる国内外の大人との交流や、地域との繋がり作りでまち歩き・お仕事体験も実施。登録児童数35名。（2019年現在）



近所の定食屋さんでおにぎり作り！



～ハロウィンは近所を練り歩き～



オーストラリアから宿泊に来た
同年代のお友達！



創成川公園のベンチのペンキ
塗りにチャレンジ！



英語の短期レッスンも！



真夏の円山登山！
ナイスファイト！



日本語学校でたくさんの国を知りました！



札幌大学の留学生も遊びに来ました！



お隣のお寺でスイカ割り！
フランスから来た友達も初体験！

フリースクール LIKEPLUS

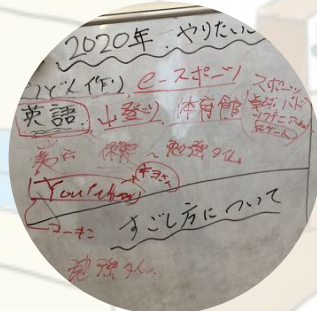
ゲストハウスを訪れる国内外の様々な大人との出会いの中で

【自分】についてゆっくりと考えます。

時には仲間と、時には大人と、時には自分より小さな子ども達と関わる午前のサードプレイス。

登録生徒数：15名（2019年現在）

VRゲームは世界共通！



謎のオカルトお面で記念写
真...



やりたいことは、みんなで共有！



みんなでスケート！



おかし作りが大ブーム！



宿スタッフと即席英語レッスン！？



ランチは宿スタッフもみんなで～



クリスマスはカラオケパーティ！！

PLAYFUL BASE

地域資源を活用して「遊び」をツールに子ども、大人、地域が交流できる居場所づくりを実施。
2020年2月よりスタートのplayful cafeをベースに屋内外(レンタルスペース、公園やお祭り等)に
子どもから大人までが笑顔になれる空間作りをしています。



オリジナルゲーム作りのワークショップは
親子の交流の場に！

playfulcafeのハンドマッサージサービス
は愚痴もこぼせる人気スポット

お祭りや公園で皿回しとゲームコーナー
で地域の子どもと大人の交流を。



playfulcafeのおもちゃや絵本は
大人もゆったり過ごせる時間に。



絵本やわらべ歌などの遊びを通して
自然と子ども同士、親同士の交流も。

泣かないで〜いいいいに〜



NPO 法人

より地域密着
多くの世代へ



地域で育つ、世界と出会う

「今日誰か来る!?!」「今日は北海寺行かないの!?!」「〇〇のお店からアメもらってきた!」
こどもたちが学校を終えゲストハウスに到着した時、第一声はよくこんな一言から始まります。

高校生から社会人、退職された方々、無職の旅人…
世界中からの宿泊客とゲストハウスのスタッフ。
そして近隣のお世話になっている方々。

学生から社会人まで、様々な方々が子ども達と遊びにやってきて、近隣から、札幌近郊まで、
お出かけも実施。年中たくさんの世界と出会います。

2019年は円山にある北海道日本語国際学院さんへ訪問。
約10の国々から集まった生徒さんに自国の紹介をしてもらったり、けん玉で交流。
ボランティアに来てくれていたお姉さんが海外へと旅立ち、
その後ビデオ電話で現地と中継してお喋りする機会もありました。

ラグビーW杯のために宿泊しに来たオーストラリアの家族。
6歳と8歳の可愛い姉妹と、言葉は通じずとも一緒にお絵描きやレゴですっかり仲良しに。
ハロウィンに行ったトリックortリート。
仮装でまち歩きをしていたら、お願いしていなかったお店からもアメをたくさんいただきました。

学校と家と、アドベンチャークラブ札幌。子ども達が普段過ごすエリアはとても小さいけれど、
たくさんの世界が、人がいるということ。2020年はもっともっと、知ってもらえる年になれば。

不登校じゃない、無登校だ

2019年9月。NPO法人設立に先駆けて、フリースクールLIKEPLUSはスタートしました。
多様な大人との出会いは小さな子ども達よりもよりダイレクトに、彼らに響くだろう。
そんなことをアドベンチャークラブ札幌のスタート前から思っていたことだったので、やっとスタートできたという想いでした。

9月から少しずつ、人数も増えてきて、レギュラーメンバーから週に1度、月に数度の子ども達も集まり始め、なんとなく、LIKEPLUSの色が出てきました。
みんなの好きな事、みんなでやりたいこと、やったら面白うな事。僕の知らないところで、話が進む(笑)

普段出会うことのない、ゲストハウスの外国人スタッフたちとの出会いから、英語を自主的に学び始める子。
自分から意見を言うタイプではなかったのに、やりたいことを発信できた子。
他人に興味を持たなかったのに、友達がやりそうなゲームを毎回仕入れて一緒にすることに楽しみを覚えた子。

9月から2月(3月からは休所状態)のたった数カ月でたくさんの変化がありました。
社会では、「不登校」というワードはとてもネガティブにとらえられています。
でも、あるポジティブ不登校の子は言いました

「私たちは学校に行けないっていう不登校じゃない。
学校に行っていないだけの無登校だ!」

学校にいないからこそ、たくさんの時間。どう有意義に過ごすかは、
子ども達とまわりの大人次第なのかもしれません。



文：日向洋喜

遊んで繋がる人と場所



「遊んでばかりいて！」

「そんな遊びみたいなこと…」

「遊び人」

遊びという言葉は、時としてマイナスなイメージで使われます。

でも私は、

今の時代だからこそ遊びを大切にしたい。

遊び心持ちを増やしたい。

なぜなら、遊びにこそ「学び」があり、楽しく学ぶためには「遊び心」も必要だから。

経験上ではありますが、遊ぶと楽しくなり、仲良くなり、笑顔になれる。

つまり人が集まり、人が繋がるきっかけを作ることができるのです。

そして本気で遊んで充実した遊びが成立した時こそ、信頼関係が築けたと実感しています。

こんな自分の想いや感覚を多くの人とシェア出来たらいいのに。(自己満ですね(笑))

子育て中の親御さんには楽しんで子育てして欲しい。

コミュニケーションが生まれる遊びの楽しさを子ども達に知ってほしい。

子どもだけじゃない、大人だって楽しんだ方がいい。

馬鹿げていてもいい、遊び心って大切だ。

私にできることは、自分が遊び人(asobibito)になって楽しいを届けることかも。

なんて思ったわけです。

学童保育でアナログゲームや集団遊びを取り入れて、友達と遊ぶ楽しさを伝えています。

アナログゲームや伝承遊びは、時にゲストハウスの宿泊客との交流ツールになることもありました。

オリジナルゲーム作りのワークショップでは親子で遊びましたし、

地域のお祭りやイベントでは皿回しをして子どもも大人も遊びました。

本当に人が集まり、楽しいをシェアできることを実感する機会になりました。

playful caf は親子とボランティアが集まって遊びや癒し、おさがりをシェアする場所に。

新型コロナウイルスの影響もあり、現在活動は中止していますが、人が人を呼んで参加者が増えました。

協力したいと申し出てくれるボランティアの方達とも繋がることができました。

小さい実績ばかりですが、私自身が遊びを通して学んだことです。

そしてわずかばかりですが、遊び心持ちが増えていると思います。

激動の2020年スタートですがplayful baseの活動を通して、

これからも様々な地域の場所や人へ[遊び心持ち増殖活動]を進めていきたいと思っています。

そしていつの日か、遊び心に満ち溢れた基地「playful base」を実現して、

誰もがフラッと立ち寄れて楽しいことをシェアできる、

地域の中の皆の居場所を作りたいと思います。



文：平野順風

寄付・ボランティア報告

E-LINKでは単発～定期的に様々な方がボランティアとして子ども達と関わってくれています。2019年度だけでも、下は高校生の10代～退職後の70代の方まで、約50名の方が遊びに来てくれました。

ゲストハウスに関わるスタッフやお客さんも合わせるともはや数えきれません。。出会いの数だけ、子ども達の世界が広がります。ぜひ、お気軽に子どもたちに会いに来てくださいね。どなたでもお待ちしております！

約50名がボランティアで参加！

また、2020年1月から、寄付サイトSyncableにて、単発・月額の手続きをサポート制度をスタートしました！

寄付サイトはコチラ⇒⇒



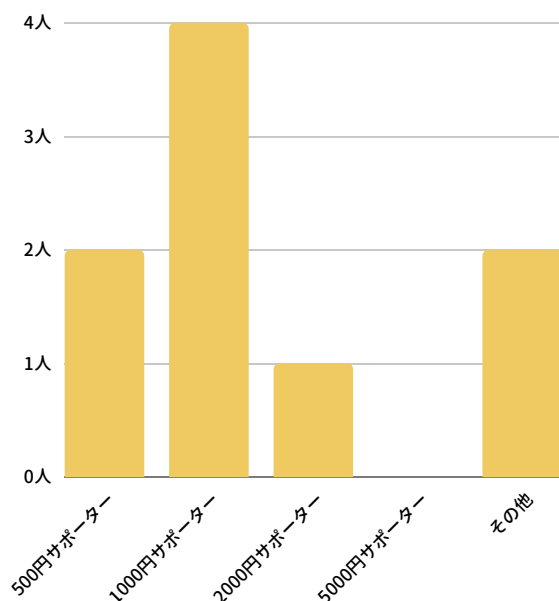
おやつもたくさん頂きました！



2019年は総額
31,499円のご寄付頂きました。
ありがとうございました！

頂いたご寄付は、主に子どもたちの日々のおやつ費用や、おもちゃ購入費用、地域交流を目的としたPlayfulBaseの運営等に使用させて頂いております。

特に、新型コロナウイルスの影響で手づくりおやつを提供を中止している間は直接おやつのご寄付や、購入のご寄付も頂き、大事に使わせて頂きました。



～新型コロナウイルスを受けて～ 2020年の展望

2020年2月25日、北海道で一足早く緊急事態宣言が発令され、学童保育、フリースクール共に約2週間の休所を余儀なくされました。その後については説明不要かと思いますが、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの影響は、全国一斉休校から始まり、私たちの社会は大きな危機を迎えました。

2020年2月に始まったPlayfulCafeも3月以降は実施できず、フリースクールLIKEPLUSは休所からの部分開放に加え、学童保育アドベンチャークラブ札幌も、可能な限り在宅保育をお願いした上で、定員を削減しての実施をしています（5月現在）。子ども達にとっても、保護者の方々にとっても未曾有の事態。

外出を制限された中で、学年が上がり心身共に、様々な不安を抱えながらも学童保育アドベンチャークラブ札幌に通い、地域の方々に支えられながら学童保育は実施できています。この場をお借りして感謝申し上げます。

休校等が明け次第フリースクールLIKEPLUSも再開となりますが、これまで以上の実りある機会を届けていきたいと思っております。

引き続き2020年も、皆様のご理解ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

休校期間中は地域のお店のアド弁当！

休校期間中も毎日働く保護者の方たちが、毎日子ども達のお弁当を作るのはなかなかハード。。少しでも力になれたらと、もともと繋がりのあった「鈴の家」さん、「ケーダッシュ」さん、そして「バズカフェ」さんのご協力の元、希望者にアド弁当の提供も、5月には実施しました！毎週美味しいお弁当で子ども達も大喜びでした！（^.^）



こどもカンパニーさんにて 地域コーディネーターとしてのお仕事が始まりました

札幌の大通駅徒歩1分にあるまちなか保育園「こどもカンパニー大通園」さん他系列園の「地域コーディネーター」として、4月よりお仕事が始まっています。

お仕事の内容は、主に地域で活躍する大人と保育園に通う子どもたちを結ぶお仕事。これはまさに、私たち E-LINKが得意とする分野です。

2020年は、私たちの持つ人との繋がりを更に下の世代の子ども達に届ける素敵な機会を頂けたことに感謝しつつ、新型コロナウイルスの影響が収まった段階で、学童保育・フリースクールと保育園のコラボも目指して活動中です！



お迎え時にホッと一息。寿珈琲、いかがですか？

創成東地区を支えるさっぽろ下町づくり社代表理事にして、2条市場向いのM'sイーストにある寿珈琲の店主であり、E-LINKのメンバーとしても日々お世話になっている柴田さん。5月からゲストハウスyuyulにて、お迎えの保護者の方々に無料で寿珈琲を提供して頂いています。

2020年は寿珈琲だけでなく、地域の方々の想いの詰まったものを、保護者の皆様や関わってくれる皆様にたくさん届けていこうと計画中です。お楽しみにしてください！



コチラも要チェック！

ホームページ：



Facebook：



Instagram：



寄付サイト：



ADDRESS：〒060-0053 北海道札幌市中央区南3条東4丁目3-13
TEL：0880-9569-2359
MAIL：educationlink.2019@gmail.com

NPO法人 E - LINK